

# 論壇

## デジタルとグリーンが鍵

米国での経済に関する議論の展開は早い。少し前までコロナ禍で戦後最大の落ち込みと大騒ぎしていたが、いつの間にかコロナ後の景気回復についての議論が中心になってきた。コロナ禍という特殊な要因であったこともあり、景気回復のスピードも速い。今年の米国の経済成長率は昨年の後退を補って余りあるような良い数字になりそうだ。

しかし、最近の議論は当面の景気回復の先の動きに向かっている。当面は急速な回復が続くとしても、その先は経済の見通しは楽

伊藤 元重

学習院大教授(国際経済学)

観視できない。そう予想をする専門家も少なくない。コロナ前から日本や米国を含む多くの先進国で景気が低迷するいわゆる長期停滞が続いており、コロナ禍の後も長期停滞から脱却する流れにはなっていないと見るからだ。

そうした悲観的な流れにならないためには、コロナ後の本格的な

ワークの確立などへ積極的に投資を行う。投資の低迷が長期停滞の大きな原因であったので、投資をテコに経済の活性化を目指すのだ。

米国政府はこうした社会の変革を進めるため、膨大な予算を準備している。積極的な財政支出をよ

### 楽観できない景気回復

経済対策が重要となる。そこで鍵となるのは、デジタルとグリーンである。デジタル技術をテコに社会を変えていくDX(デジタルトランスフォーメーション)を進めていく。気候変動に本格的に取り組むことで再生可能エネルギー、自動車の電動化、水素ネット

り強力なものにしようというのだ。ただ、膨大な財政支出で米国の財政状況がどうなるのか懸念がないわけではない。株式市場などは、米国の国債の利回りの動きに神経質になっている。

さて、こうした米国での動きは、日本経済の今後を考える上でも参

考になる。経済は国際的に連動する傾向が強くなっており、米国経済の今の姿は日本経済の明日の姿にも見える。コロナ禍からの脱却については、ワクチンの普及のスピードが鍵となる。この面で日本は米国に半年以上も遅れてしまっただが、ここに至って接種のペースが格段に速まっている。政府は1日100万回と言っているが、そのスピードでいけば、夏が終わる頃には経済の風景も随分と変わるはずだ。

### 財政に頼らず民間投資で

ワクチン接種で国民全体に安心感が広がれば、観光や外食などに消費者が戻ってくるだろう。コロナ禍による落ち込みが激しかっただけに、回復の実感を得るだ

ろう。ただ、問題は先の先だ。コロナ禍の前に戻るだけなら、そこから経済成長はあまり期待できない。米国が直面している問題と同じだ。

そこで、コロナ後の経済の成長力を高める方策を考える必要がある。答えがそんなにいろいろとあるわけではない。米国と同様、日本でもデジタルとグリーンが鍵になるだろう。先日発表された政府の骨太方針でも、デジタルとグリーンの重要性が強調されていた。米国以上に財政が傷んでいる日本で、財政危機を起ささないでデジタルやグリーンでの投資をどこまで拡大できるのか。これが大きな課題となる。政府の財政に過度に頼らず、民間の投資を軸に動かない。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。